

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 近畿財務局長

**【提出日】** 平成25年11月12日

**【四半期会計期間】** 第41期第1四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** 株式会社ユニバーサル園芸社

**【英訳名】** UNIVERSAL ENGEISHA CO., LTD

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 森坂 拓実

**【本店の所在の場所】** 大阪府茨木市大字佐保193番地の2

**【電話番号】** 072-649-2266 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 経営企画室長 安部 豪

**【最寄りの連絡場所】** 大阪府茨木市大字佐保193番地の2

**【電話番号】** 072-649-2266 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 経営企画室長 安部 豪

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第40期 第1四半期 連結累計期間	第41期 第1四半期 連結累計期間	第40期
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成25年6月30日
売上高 (千円)	748,800	871,622	3,436,577
経常利益 (千円)	138,495	143,965	603,286
四半期(当期)純利益 (千円)	78,916	85,488	359,381
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	79,384	85,103	363,123
純資産額 (千円)	4,428,345	4,583,577	4,558,634
総資産額 (千円)	5,118,009	5,284,831	5,283,430
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	62.82	71.17	287.28
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	86.5	86.7	86.3

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、アベノミクスの影響による円高是正、それに伴う輸出の持ち直しや消費者マインドの改善等、景気に明るい兆しが見えてきました。しかしながら、一方で消費税率の引き上げ等、国内景気の減速懸念となる要因が依然としてある経営環境となっております。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は871,622千円（前年同四半期比16.4%増）、営業利益は134,848千円（同6.6%増）、経常利益は143,965千円（同3.9%増）となった結果、四半期純利益は85,488千円（同8.3%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示していません。

#### 〔グリーン事業〕

グリーン事業のうち関東エリアにつきましては、引き続き需要回復が鮮明になり、契約増加の影響等により増収増益となりました。関西エリアにつきましては、前連結会計年度より株式会社花守花の座を新たに連結の範囲に加えたこと等から増収増益となりました。海外エリアにつきましては、契約増加により増収となりましたが、コスト増加等の影響もあり減益となりました。

以上の結果、グリーン事業の売上高は749,709千円（前年同四半期比16.7%増）となり、営業利益は131,697千円（同11.3%増）となりました。売上高営業利益率は、関西エリアは18.9%（前年同四半期18.5%）、関東エリアは17.2%（同18.9%）となりました。

#### 〔卸売事業〕

卸売事業につきましては、前連結会計年度においてネクステージ株式会社からエクステリア用石材等の卸売事業を譲り受けたこと等により大幅な増収となりましたが、円安による輸入原価増の影響等により減益となりました。

以上の結果、卸売事業の売上高は95,051千円（前年同四半期比41.8%増）、営業利益は3,050千円（同34.7%減）となりました。

#### 〔ネット通販事業〕

ネット通販事業につきましては、企画商品の拡充や経費節減等による売上及び利益の確保に努めてまいりましたが、減収減益となりました。

以上の結果、ネット通販事業の売上高は7,729千円（前年同四半期比16.4%減）、営業損失が2,913千円（前年同四半期は2,163千円の営業損失）となりました。なお、ネット通販事業は「母の日」の属する第4四半期に売上高と営業利益が偏重する傾向があります。

#### 〔造園事業〕

造園事業につきましては、公共工事を中心に工事案件の総数が減少したこと等により、減収減益となりました。

以上の結果、造園事業の売上高は28,436千円（前年同四半期比19.8%減）、営業損失が1,362千円（前年同四半期は2,239千円の営業利益）となりました。

### (2) 財政状態の分析

#### （総資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は5,284,831千円となり、前連結会計年度末に比べ1,400千円の増加（0.0%増）となりました。

このうち流動資産は2,623,238千円となり、前連結会計年度末に比べて14,499千円の増加（0.6%増）となりました。これは主に現金及び預金が42,977千円、商品及び製品が20,199千円、それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が47,540千円減少したこと等によるものであります。また、固定資産は2,661,592千円となり、前連結会計年度末に比べて13,098千円の減少（0.5%減）となりました。これは主に有形固定資産が5,816千円、投資不動産が2,028千円、のれんが5,221千円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

#### （負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は701,253千円となり、前連結会計年度末に比べて23,542千円の減少（3.2%減）となりました。これは主に未払法人税等が25,498千円減少したこと等によるものであります。

#### （純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,583,577千円となり、前連結会計年度末に比べて24,942千円の増加（0.5%増）となりました。これは主に、四半期純利益を85,488千円計上し、一方で、配当金60,062千円の支払等により、利益剰余金が25,425千円増加したことによるものであります。

### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,256,250	1,256,250	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)	単元株式数は100株であります。
計	1,256,250	1,256,250	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	1,256,250	-	172,770	-	122,488

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容の確認ができないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 55,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,200,500	12,005	同上
単元未満株式	普通株式 750	-	-
発行済株式総数	1,256,250	-	-
総株主の議決権	-	12,005	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対す る所有株式 数の割合 (%)
(株)ユニバーサル園芸社	大阪府茨木市大字佐保193番地の2	55,000	-	55,000	4.38
計	-	55,000	-	55,000	4.38

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,878,643	1,921,621
受取手形及び売掛金	464,982	417,441
有価証券	100,137	100,364
商品及び製品	102,031	122,231
仕掛品	1,244	980
原材料及び貯蔵品	6,265	8,000
その他	58,786	56,169
貸倒引当金	3,353	3,569
流動資産合計	2,608,738	2,623,238
固定資産		
有形固定資産		
土地	795,824	795,824
その他	928,377	931,683
減価償却累計額	691,009	700,132
その他(純額)	237,367	231,551
有形固定資産合計	1,033,191	1,027,375
無形固定資産		
のれん	75,996	70,775
その他	49,233	46,209
無形固定資産合計	125,230	116,985
投資その他の資産		
投資有価証券	606,523	607,741
繰延税金資産	145,854	145,830
投資不動産	506,735	506,735
減価償却累計額	78,120	80,149
投資不動産(純額)	428,614	426,586
その他	342,768	345,719
貸倒引当金	7,492	8,646
投資その他の資産合計	1,516,269	1,517,231
固定資産合計	2,674,691	2,661,592
資産合計	5,283,430	5,284,831



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	92,164	99,898
未払法人税等	84,482	58,983
賞与引当金	2,377	31,790
その他	148,065	112,934
流動負債合計	327,089	303,606
固定負債		
退職給付引当金	145,892	146,259
長期未払金	209,160	208,981
その他	42,653	42,405
固定負債合計	397,706	397,647
負債合計	724,796	701,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,770	172,770
資本剰余金	122,488	122,488
利益剰余金	4,415,183	4,440,609
自己株式	153,450	153,547
株主資本合計	4,556,992	4,582,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	501	282
為替換算調整勘定	1,141	974
その他の包括利益累計額合計	1,642	1,257
純資産合計	4,558,634	4,583,577
負債純資産合計	5,283,430	5,284,831

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	748,800	871,622
売上原価	281,181	329,867
売上総利益	467,618	541,754
販売費及び一般管理費	341,063	406,906
営業利益	126,554	134,848
営業外収益		
受取利息	5,633	2,762
受取配当金	166	178
投資不動産賃貸料	10,564	11,831
デリバティブ評価益	2,041	-
その他	2,028	1,373
営業外収益合計	20,435	16,145
営業外費用		
不動産賃貸原価	5,241	4,967
為替差損	2,509	1,184
その他	743	875
営業外費用合計	8,494	7,028
経常利益	138,495	143,965
税金等調整前四半期純利益	138,495	143,965
法人税等	59,579	58,477
少数株主損益調整前四半期純利益	78,916	85,488
四半期純利益	78,916	85,488

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	78,916	85,488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	382	219
為替換算調整勘定	85	166
その他の包括利益合計	468	385
四半期包括利益	79,384	85,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,384	85,103
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)
(税金費用の計算) 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)
減価償却費	9,233千円	12,700千円
のれんの償却額	1,526千円	5,221千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月27日 定時株主総会	普通株式	62,812	50.00	平成24年6月30日	平成24年9月28日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年9月28日 定時株主総会	普通株式	60,062	50.00	平成25年6月30日	平成25年9月30日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書 計上額 (注)2
	グリーン事業				卸売事業	ネット通 販事業	造園事業			
	関東 エリア	関西 エリア	海外 エリア	小計						
売上高										
外部顧客への売上高	315,354	318,790	8,358	642,503	63,071	7,792	35,432	748,800	-	748,800
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	15	-	15	3,953	1,450	14	5,433	5,433	-
計	315,354	318,805	8,358	642,518	67,025	9,242	35,447	754,234	5,433	748,800
セグメント利益又は損失( )	59,668	58,956	331	118,294	4,673	2,163	2,239	123,043	3,510	126,554

(注)1 セグメント利益(営業利益)の調整額3,510千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替等でありませ

ず。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書 計上額 (注)2
	グリーン事業				卸売事業	ネット通 販事業	造園事業			
	関東 エリア	関西 エリア	海外 エリア	小計						
売上高										
外部顧客への売上高	373,695	362,909	12,726	749,331	86,553	7,337	28,400	871,622	-	871,622
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	378	-	378	8,498	392	36	9,306	9,306	-
計	373,695	363,288	12,726	749,709	95,051	7,729	28,436	880,928	9,306	871,622
セグメント利益又は損失( )	64,388	68,502	1,194	131,697	3,050	2,913	1,362	130,472	4,376	134,848

(注)1 セグメント利益(営業利益)の調整額4,376千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替等でありませ

ず。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	62円82銭	71円17銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	78,916	85,488
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	78,916	85,488
普通株式の期中平均株式数(株)	1,256,250	1,201,223

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

株式会社ユニバーサル園芸社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 土 居 正 明 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 三 宅 潔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ユニバーサル園芸社の平成25年7月1日から平成26年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ユニバーサル園芸社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。